

発行 特定非営利活動法人玉川まちづくりハウス

〒158-0085

東京都世田谷区玉川田園調布 2-11-10 Email [house@tamamati.com](mailto:house@tamamati.com)  
tel.03-3721-8699 fax.03-3721-8986 URL <https://tamamati.com>



no.365

玉川まちづくりハウスは、住民主体のまちづくりをお手伝いする特定非営利活動法人（NPO法人）です。

## 第92回 ここからカフェ九品仏

### 六義園の魅力

日時：2026年4月25日（土）  
13:30～15:30

講師：永田勝代さん

会場：九品仏複合施設 2階  
世田谷区奥沢 7-35-4

参加費：300円 ※要予約

申込・問合せ：090-3961-8514

（ここからカフェ九品仏 湯澤）

3

## ハウススケジュール&プレイバック

予定・詳細はHP <https://tamamati.com/>にて  
ご確認ください

- 8日（日） 街角保健室 街角カフェ 同時開催 玉田シニアサロン / スペースえんがわ inn
- 9日（月） お隣さまお茶会 / スペースえんがわ inn  
住宅まちづくり総合相談 / 世田谷総合支所
- 12日（木） 住宅まちづくり総合相談 / 玉川総合支所
- 13日（金） 玉川まちづくりハウス定例運営委員会 / スペースえんがわ inn
- 15日（日） タマデンマルシェ / アピターレ前（玉田 1-13-1）
- 17日（火） プレーリヤカーでの公園遊び / ねこじゃらし公園
- 19日（木） 「数江邸見学」 / 数江邸  
せたがや防災 NPO アクション事務局会議 / オンライン
- 26日（木） 住宅まちづくり総合相談 / 玉川総合支所

## 第120回 お隣さまお茶会

### 薬になる植物のお話 薬剤師の徒然なるままのお話

講師：薬剤師 長田順子さん  
自由が丘メディカルハーブ SABIA

日時：2026年4月13日（月）  
13:30～15:30

会場：スペースえんがわ inn  
世田谷区玉川田園調布 2-12-6  
参加費：500円 ※要予約

申込・問合せ 03-3721-8699  
玉川まちづくりハウス

4

## ハウスカレンダー

- 5日（日） 玉田シニアサロン  
14:00～16:00 玉川田園調布会館
- 9日（木） 住宅まちづくり総合相談  
13:30～15:30 玉川総合支所
- 10日（金） 玉川まちづくりハウス定例運営委員会  
9:30～11:00 スペースえんがわ inn
- 13日（月） お隣さまお茶会  
13:30～15:30 スペースえんがわ inn
- 17日（金） 宮本三郎記念美術館+アートフェスタ会議  
18:00～19:00 スペースえんがわ inn
- 19日（日） タマデンマルシェ  
11:00～15:00 アピターレ前（玉田 1-13-1）
- 21日（火） プレーリヤカーでの公園遊び  
10:00～12:30 ねこじゃらし公園
- 23日（木） 住宅まちづくり総合相談  
13:30～15:30 玉川総合支所  
世田谷防災 NPO アクション事務局会議  
18:00～ オンライン
- 25日（土） ここからカフェ九品仏  
13:30～15:30 九品仏複合施設 2階

### ハウスの会員数

特別正会員	5名
正会員	25名
ニュース会員	42名

### 4月号にかかわったひと

伊藤雅春 染野和夫  
高橋阿貴 小西玲子  
柴田希美絵 池田麻未  
昆野敬子

## 第63回 玉田シニアサロン

### 『わたしの AI 活用術』

講師：1) 大井昇さん

「わたし（91歳）はAIをどう使っているか」

2) 高瀬有二さん他

日時：2026年4月5日（日）  
14:00～16:00

会場：玉川田園調布会館  
参加費：500円  
問合せ：03-3721-8699

玉川まちづくりハウス

## 街角カフェ開催!

3月8日（日）15時 スペースえんがわ inn を会場に 『街角保健室』プロジェクトの今年度の締めくくり街角カフェを開催しました。

前号でも書きましたが、『街角保健室』は何か心に掛かることがある時、誰かと話したい時、一息つきたい時に立ち寄れる近所の心地いい場、空間をイメージしています。様々な活動団体が「街角保健室」という名のもとにつながって、必要としている方へ、地域の居場所への一歩を促すことで、人々の健康や幸福度を向上できたら、と思い2023年から活動を始め、非医療的な処方、社会的処方を目指しています。



### 当日プログラム

- ① 15時～16時 玉田シニアサロンと共催  
「コーヒーと血圧計」を主宰なさっている neighbor 共同代表の馬場未織さんのお話を伺う
- ② 16時～17時 庭でモルック体験
- ③ 17時～ 参加者みなさんでおしゃべりしながら交流しよう!

先ず「みんながカジュアルにケアしあえる社会」と「ケアについて学び合うつながり」を求めて「neighbor」を立ち上げ、尾山台のホコ天で、毎月ケアのプラットフォーム『コーヒーと血圧計』を開催している馬場未織さん、どうしてコーヒーと血圧計を始めたかのお話。

・父親が突然倒れ、認知症の症状のある母親と2人暮らしの生活をどうするか？

・先ず訪問介護や家族のケアのシフトを組む

・胃痙するかどうか→訪問看護師さんからのアドバイスで「本人の意思を尊重する」→胃痙はしない→老衰を選択

・かかわる人たちの連絡をとるための現場ノートを置く

など体験するうちに老いや死は直前まで他人事になっている現状があるのでは、また、自分の未来も不安なのでやみくもに不安で相談しづらい。

状況を変えるためにどうすればよいのか。

介護や看護をプロに任せるのではなく、身近で、今の

自分以外への想像力をもって、家族や友人以外ともケアしあえる場を創りたい…そこで立ち上げたのが、知り合った訪問看護師のかたと共に立ち上げた「neighbor(ネイバー)」。コンセプトは、「となりの未来は自分の未来。専門家とまちの人がフラット(対等)な目線で話せる状況を作る。」です。

そこから ホコ天でコーヒーを配って通りかかる人に声をかけ、知り合ううちに困っていることやケアについて誰でもが気軽に話せる場を作るということを発想するって素晴らしい!です。

### 血圧とコーヒー

尾山台商店街 基本毎月最後の木曜日  
16時～  
歩行者天国に屋台が出ています。  
ぜひのぞいてみてください

続いて、えんがわ inn のお庭でモルック体験。このだけでも、障害者もできるスポーツは、最近、九品仏地区でもあんすこや社協でよく開催されていますが、室内では本来の木のピン(スキットル)と棒(モルック)を使用できる場所は少なく、木製を使用できるのは、このお庭、えんがわ inn の特権です!カーンカーンという小気味いい音がして、それだけで楽しい気分になります。

小一時間ほどわあわあ楽しんだ後は、部屋に戻っておしゃべり交流タイム。初めて出会った方々も多かったの

に、どのテーブルも盛り上がっていました。お知り合いを増やした方、多かったのではないかと思います、嬉しい気持ちになりました。

この日、知り合う力、知り合う人を大切にすると、困った時に助けてもらえる人を引き寄せる力=魅き寄せる力も強くなるということを学びました。教えてくださった方々本当にありがとうございました。



## 一般社団法人住宅遺産トラストの仕事 ～数江家住宅～

3月19日（一社）住宅遺産トラストの方々と大田区にある数江家住宅を訪れました。

1939(昭14)年に大田区久が原に建てられたこの木造住宅は、外観はスパニッシュ風ですが、内部は本格的な数寄屋風意匠を備えた和洋折衷住宅。

3人目の当主となられた数江教一氏は、倫理学者で、『わび-侘茶の系譜-』（塙書房）の著作もある「瓢鮎子(ひょうねし)」という号をもつ茶道研究者として知られた方です。

設計者は日米両国で活動したヴォーリズ建築事務所の東京支店長であった建築家の松ノ井覚治氏。洋風と和風、スパニッシュと数寄屋とを巧みに融合した意匠で、戦時色が色濃くなり始めた時期にもかかわらず良質の材料が選ばれ、優れた職人技術によって造られた数寄屋普請でもあり、大きな改造がなく建築当初の姿を残す貴重な折衷住宅とのこと。

実際拝見すると、どのお座敷でもお茶事ができるようきめ細やかに設計されており、玄関から居間・茶室に向かう廊下は並行して2本あり、お茶事の時には来客用であったのだとわかります。

お庭も素晴らしく、敷地の南側に別に茶室「香積庵(きょうせきあん)」が建てられていて、露地には外腰掛、雪隠、梅見門、内待合が備えられ、今でも本格的な茶事が行われているそうです。

残念ながら、現在、特に日本ではどんなに優れた建築であっても、個人の所有である点で住宅の継承はきわめて難しいテーマです。

優れた住宅を失うことは、貴重な技術や空間を失うにとどまらず、そこで生まれ続けられてきた住まい方、地域の記憶景観を失うことでもあります。こうした価値ある住宅建築とその環境を「住宅遺産」と名づけ、その継承に関心を寄せる多くの方々とともに、これを後世に継承するための仕組み作りを目指して、2013年「一般社団法人住宅遺産トラスト」は設立されました。

この活動は大きな共感を呼び、いくつもの相談事が持ち込まれ、今や住宅遺産の継承事例がいくつもあります。2022年には「住宅遺産」の保存と継承に関わる一連の社会的活動に対して建築学会賞(業績)を受賞しています。

住む方がいなくなった後、この数江邸を何とか守ろうと頑張っていたら、お子さんが、住宅遺産トラストのことを知り、連絡を取られたことから、今また新しい継承への取り組みが始まっています。

多くの方々に、この取り組みを知っていただき、今日の日本の建築の不動産価値が、その価値の如何にかかわらず、年月とともにただ価値を低減してしまっている現状は、やはりもったいないのだということに気づいて、多くの方と、何とか抗う方法を、ご一緒に見つけられればと思っています。

玉川まちづくりハウスからも、今後の取り組みについてお知らせしたいと考えています。ぜひご参加ください。  
(小西)

参照 住宅遺産トラスト HP  
<https://hhtrust.jp/>  
数江家住宅 大川三雄  
(建築史家 大田区)文化財審議委員会委員



photo: 須藤史郎

## 暮らしのつばやき 2026年4月

### みるみる春に

窓の外が多摩川の河川敷の景色が、どんどん春になっていきます。冬の間枯れた色だった地面が、クローバー、タンポポ、浜大根、菜の花で毎日埋め尽くされていきます。視線を上げれば河津桜や雪柳が咲き、柳も見る間に緑をまとい、凄じ勢いだなあと圧倒される思いです。気温は急に寒くなることもまだありますが、季節は春なのだ、と感じています。

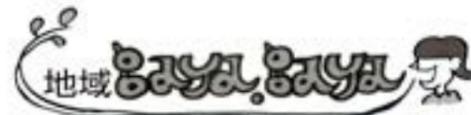


### 【この先何をされるんですか？】

お世話になった会社の先輩が定年を迎えるということで、送別の会がありました。先輩は、アンティーク着物の収集や、薔薇の園芸など大変多趣味な方なので、定年後は何をなさるのかしらと思っていたら、なんと【AIを使ってYouTuberになろうと思うの！】とおっしゃっていて、びっくりしました。その好奇心と行動力があるからこそ、定年までイキイキと働いてこられたのだなあと感動した送別会でした。

## 地域 GAYAGAYA

地域の動きや、話題を地域の方々に手伝っていただいで紹介していくコーナーです。



地域の歴史を辿る

その 39

### 第39回 「東急電鉄の歴史」その③ 奥沢地誌保存会・染野和夫

前号(東急電鉄の歴史・その②)では、目黒蒲田電鉄が設立される直前の田園都市(株)や武蔵電気鉄道(株)での動向や五島慶太氏のことについてお話を致しました。今号ではその後の動きについてお話を進めます。

大正9年(1920年)5月、鉄道事業を推進すべく鉄道院から五島慶太氏を常務取締役として迎えた武蔵電気鉄道ではありませんでしたが、同年3月に株式市場大暴落に端を発した第一次世界大戦後の恐慌の影響は大変深刻であり、資金調達面においても困難を生じており、せっかく渋谷～平沼(現・横浜駅付近)、調布(下沼部)～蒲田間などの免許を得ていた路線の建設は一向に進展しておらず会社の経営も非常に苦しい状況に陥っていました。

一方、田園都市(株)でも鉄道事業に精通した人物を必要としており、阪神急行電鉄の小林一三氏は自分の代わりとして元鉄道院官僚で武蔵電気鉄道の常務となっていた五島慶太氏に着目、田園都市(株)への経営参画の声掛けをしていました。

この事は五島慶太氏にとっても好都合であったと云えます。

武蔵電気鉄道の常務に就任したとはいえ、鉄道建設は資金難から遅々として進んでおらず、また五島氏自身も閉職状態にありました。一方で田園都市(株)では、着々と事業を推進しており、先行開発した洗足田園都市の分譲も大変好調に推移し、また開拓中の多摩川台住宅地(現在の田園調布)の分譲も順調な販売が見込まれて、会社

は資金的にも余裕が出るのが考えられました。更にはこれらの分譲地と都心を繋ぐ鉄道の建設も急ぐ必要が求められていました。

こうして田園都市(株)の鉄道事業部門を分離独立させることとなり、大正11年(1922年)9月2日に目黒蒲田電鉄(株)が設立されました。

社長には田園都市会社の専務を務めた竹田政智氏、そして五島慶太氏は同日取締役となり、その後武蔵電気鉄道の常務を務めながら専務取締役に就任しています。この目黒蒲田電鉄の設立日が東急株式会社、東急グループの創立日となっています。

翌大正12年(1923年)5月、目黒蒲田電鉄は本社を京橋区から目黒駅裏の荏原郡大崎町に移設、併せて武蔵電気鉄道も本社を麴町区からここに移し両社は本社を同居させました。

こうして、五島慶太氏が両社の経営を実質的に担うことになり武蔵電気鉄道と目黒蒲田電鉄の連携が生まれ、東京西南部に鉄道事業の路線整備が進展していくことになります。

(以降は次月号に続く。)(参考文献:東急100年史)



目黒蒲田電鉄(株)本社社屋(大正13年当)



多摩川付近を視察の重役達(大正12年)



### 花の散り際

チューリップが入った花束を買いました。花瓶に入れて飾って何日か経っても、花弁の変色もなくきれいなままでいました。ある日、花瓶の水を変えようと花に手を触れたら、あっという間に花弁がすべてばらばらと床に落ちてしまい、驚きました。チューリップはこんな風に花弁が落ちることを初めて知りました。



### 新しい靴

年末に少し腰が痛い、と思ってから、今まで通勤で使っていたリュックにパソコンを入れて背負うのをやめたくて、新しい靴を探していました。それで先日購入したのが、C0topaxiというブランドのリュックです。他社の大量生産で生まれた残材を組み合わせた、一点もののカラフルなカラーリングが特徴で、アウトドアブランドなので背負い紐もしっかりしています。この先の仕事の相棒として、たくさん使いたいと思います。(貴)